

京野人（一）^{きやのひと} 俳人。明治九年十一月二十日秋田縣湯澤町生れ、昭和十一年八月三十一日歿（八五―一九六）。本名仁助。丸京呉服店主人、また秋田貯蓄銀行監査役等を務めた。大正末年後藤未開紅の勧めで句作を始め、歿年まで中塚一碧樓主宰雑誌『海紅』に據つた。地元句會山彦會の中心俳人。

歿後刊行の『人二句集』（昭和十一年八月三十一日秋田・山彦社）は一碧樓選、安齋櫻樓子序、廣島夏浦装幀。また附載せられた『百日忌追悼句會一旬抄』には一碧樓の他、曉島敏^{はや}、種田山頭火、谷口喜作、細谷不句、内島北朗等の句も見える。

